



岩手県九戸村の補聴器購入助成制度は、同県によると遠野市、大船渡市に続く3番目。補聴器購入助成の再申請が可能で、補聴器の調整費用の一部も別途加算されます。

(徳永慎一)

九戸村は、岩手県北部の人口約5500人の村。折爪岳は、100万匹以上ものヒメボタルの生息地として知られています。昨年12月から始まった補聴器助成制度は、同年4月に初当選した晴山裕康村長の提案で実現しました。

「私は困っている人、困難に直面している人をいくらでも支援するということを、村政の根本においています。決して裕福な村ではありませんが、やさしく心地よくらしを実感してほしいからです。補聴器助成制度も、そうした施策としてやらせていただきます」といいます。

村長選で「難聴者に補聴器購入への補助」ともにかかげた公約「県内初、村独自の子ども手当」一学校給食費の全額無料化「75歳以上のバ

広がる補聴器助成

シリーズ

岩手県九戸村



久保さん

「補聴器購入助成に大変感謝しています。日本共産党の久保えみ子議員が「補聴器に電池が必要な方は、電池購入がかなり経済負担になって」と聞きまして、昨年12月の村議会では、こんな質疑がありました。

「お聞きありがとうございます。補聴器に電池が必要な方は、電池購入がかなり経済負担になって」と聞きまして、昨年12月の村議会では、こんな質疑がありました。

再申請が可能に 調整費用の一部も

県内で3番目

「私に困っている人、困難に直面している人をいくらでも支援するということを、村政の根本においています。決して裕福な村ではありませんが、やさしく心地よくらしを実感してほしいからです。補聴器助成制度も、そうした施策としてやらせていただきます」といいます。

「私は困っている人、困難に直面している人をいくらでも支援するということを、村政の根本においています。決して裕福な村ではありませんが、やさしく心地よくらしを実感してほしいからです。補聴器助成制度も、そうした施策としてやらせていただきます」といいます。

- #### 九戸村補聴器購入助成制度の概要
- 対象 18歳以上の村民。両耳の聴力40%以上70%未満で、身体障害者手帳の交付対象とならない難聴者(医師が必要を認めた場合は、40%未満でも対象)
 - 助成額の基準額 高度難聴用ポケット型3万4200円、高度難聴用耳かけ型4万3900円
 - 助成額 基準額の範囲内で購入費用の9割(基準額を超えた差額は、自己負担)
 - 再申請 耐用年数(5年)後は可能

くらし応援 村民の願いにこたえる村政へ

晴山 裕康
はれやま ひろあき
九戸村 長
2020年4月就任
〒982-0201 岩手県九戸村
〒982-0201 岩手県九戸村

内村、村独自の子ども手当
75歳以上 バス代を無料に
難聴者に補聴器購入への補助
学校給食費の全額無料化
新型コロナウイルス対策
相談窓口を設け
九戸健康センターの
入浴パットの取組

補聴器購入への補助など四つの「すくやります」をかかげた「住みよい九戸村」号外

補聴器購入への補助など四つの「すくやります」をかかげた「住みよい九戸村」号外

晴山村長は「いずれ困った人に行き届くような政策を進めてまいりたい。前向きに検討したい」と答えていました。

久保さんは、すでに19年12月議会でも、補聴器購入助成に取り組むよう村に求めています。補聴器助成を実施する自治体が近年増えていること、村民のなかに補聴器は高いので補助してほしいとの要望があることなどを紹介。「高齢になっても生活の質を落とさず、心身ともに健やかに過ごしたい、認知症の予防、ひいては医療費の抑制にもつながる」として助成制度の創設を求めました。

当時の村長は「国、県、市町村の動向を勘案しながら検討課題」として「と制度創設には消極的で

からは「一生使うので、付属品の電池購入にも補助があれば助かる」という要望がよせられていました。この「電池購入も補助の対象」と求めました。

晴山村長は「いずれ困った人に行き届くような政策を進めてまいりたい。前向きに検討したい」と答えていました。

この質問をきっかけに、生まれつき難聴の子どもなどが利用する人工内耳用の電池が、補聴器助成制度とは別に、5月から障害者等日常生活用具給付事業の対象となりました。

2020.12.16 No.152
補聴器購入助成制度
お申し込みは、電話またはメールで。
お申し込みは、電話またはメールで。
お申し込みは、電話またはメールで。

補聴器購入助成制度を紹介した「広報くのへ」のお知らせ

翌年4月、新村長が誕生。12月には補聴器助成が実現したことに、久保さんは「村長がかわるところも村政がかわるのか、と実感しています。制度ができてよかったので、もっと利用しやすいように9割給付は10割にし、助成額を増やし、制度の周知にも力を入れてもらいたい」と話しています。

電話相談 03-3350-5246 午後2時~4時

種から育てて 狭い庭とプランターで野菜づくりをしています。キュウリは何十年も、苗からではなく、種から育ててきましたが、110本も収穫できたの

は初めて友人にもきました。年最後の1ユウリと毎日、わて、孫が酔の物も